

## 募集概要

**日程** 平成30年7月21日(土)～8月21日(火) ※セミナー1回、見学会4回、遠隔地見学会2回

**対象** 中部5県下(愛知県・岐阜県・静岡県・長野県・三重県)の小学校、中学校、高等学校の先生 ※担当教科は問いません。

**定員** セミナー 100名 見学会 各コース 40名 遠隔地見学会 各コース 40名  
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。なお、見学会の抽選に際してはセミナー参加者および教員経験の10年未満の方を優先します。

**参加費** 無料  
※会場・集合場所までの往復の交通費は、一定額(セミナー:3千円、見学会:5千円)を超える部分について当懇談会で負担いたします。  
 ※見学会の昼食は、当懇談会で用意いたします。  
 ※往復の交通費の一部(5千円)のみ当懇談会で負担いたします。  
 ※昼食の用意はありません。

**申込締切** 平成30年6月15日(金) 必着 抽選の結果は、6月中旬に郵便にて連絡いたします。

**申込方法** 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りいただくか、中部原子力懇談会のホームページ(下記URL)からお申し込みください。  
※いただいた情報は、抽選結果・案内の送付、見学会や講師への報告、ならびに当懇談会が主催する各種行事のご案内や配布物送付のために利用させていただきます。

### 平成30年度「エネルギー・環境研究会」参加申込書

(ふりがな)	申込日		月 日	
お名前	性別	男・女	生年月日 (西暦)	19 年 月 日
携帯電話	— —		教員経験	10年未満 ・ 10年以上
学校名	〒		担当教科	
学校	住所	〒		
	電話番号	— —	FAX番号	— —
自宅	住所	〒		
	電話番号	— —	FAX番号	— —
E-mailアドレス				
ご案内送付先	学校	・	自宅	※見学会集合時、電話連絡不通時用に、携帯電話番号並びにFAXまたはE-mailアドレスのご記入をお願いします。

参加希望先に○をご記入ください。

セミナー	見学会				遠隔地見学会	
セミナー (7/21)	Aコース (7/27)	Bコース (8/3)	Cコース※ (8/6)	Dコース (8/21)	①コース (8/10)	②コース (8/17)

※Cコースは昨年度台風により中止となったため、今年度申込者の中から昨年度参加予定者を優先します。

各回の集合場所、時間等の詳細については、別途郵便にてご案内いたします。

**申込先** 中部原子力懇談会 エネ研 係  
**FAX** 052-231-7279  
**URL** http://www.chugenkon.org

# エネルギー・環境研究会 に参加してみませんか?

参加費 無料

全教科の先生対象

初参加大歓迎

## 開催のご案内

中部原子力懇談会では、次代を担う子どもたちにエネルギー、環境への関心を高めてもらうため、さまざまな活動を行っております。その活動の一環として、教育に携わっておられる学校の先生方を対象に、エネルギー・環境全般にかかわるタイムリーな情報を提供し、総合学習などの授業に役立てていただくとう「エネルギー・環境研究会」を開催しています。  
 エネルギー・環境問題・放射線に関心のある方、エネルギー関連施設で見聞を広めたい方、授業に役立つ資料や情報をお探しの方はぜひご参加ください。

## おすすめポイント

- ✓ 各分野で活躍中の大学教授など専門家による講義
- ✓ 授業に役立つ実践事例
- ✓ 話題性の高い原子力発電所から最先端科学まで魅力あるエネルギー関連施設見学



中部原子力懇談会  
<http://www.chugenkon.org>

〒460-0008  
 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル6階  
 TEL:052-223-6616 FAX:052-231-7279(担当:小川)

## 後援

文部科学省、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、長野県教育委員会、三重県教育委員会、名古屋市教育委員会

# 「エネルギー・環境研究会」に参加してみませんか？

理科の先生だけでなく、全ての教科の先生が対象です。初参加の先生大歓迎です。

## セミナー

7/21(土)  
定員 100名

場所/名古屋商工会議所ビル (地下鉄「伏見」駅より徒歩5分)

13:00

### 開講挨拶

13:05~14:15 (70分) <エネルギー>

エネルギー関連の著書多数

### ドイツのエネルギー改革の現状と課題 ~日本は何を学ぶべきか~

脱原発、脱化石燃料と再生可能エネルギーの大量導入を目指したドイツ。この政策はうまくいっているのか。ドイツにおけるエネルギー改革の現状と課題についてお話いただくとともに、島国の資源小国である日本はどのようにすればよいのか。エネルギー問題と経済・くらしの関係について、わかりやすくお話いただけます。



国際環境経済研究所  
主任研究員  
竹内 純子 氏

休憩 (5分)

14:20~15:30 (70分) <教育論>

高校講座「物理基礎」のお父さん  
各種テレビ番組への出演・監修

### 分かっているから分からないへ ~目的意識をもって解決しながら学ぶために~

分かっていることから始め、分からないことに気付かせ、解決の道をたどる授業をどう構築するか。NHKETV講座や実際の実験などを例に、教科や小学校から高校までの学年にもよらず、主体的で深い学びに至る学習について、そのヒントをお話いただけます。



NHKTV高校講座講師  
川角 博 氏

休憩 (10分)

15:40~16:50 (70分) <放射線>

世界初の放射線カードゲーム  
「ラドラボ」を開発

### 体験として学ぶ放射線

講師は福島第一原子力発電所の事故後、児童や学校の先生からの「放射線そのものがわからない」という声を何度も聞かれ、こういった要望に応えるために、子どもが楽しみながら学べる「放射線カードゲーム」を開発されました。また、小中高生が自ら放射線地図を作成するプロジェクトを現在展開されています。遊びや体験を通じて放射線を学ぶことの大切さについてお話いただけます。



京都大学  
放射線同位元素総合センター  
助教  
角山 雄一 氏

受講者にはカードゲーム  
「ラドラボ」を進呈!

## 見学会

※集合・解散場所は「名古屋駅周辺」を予定しています。ただし、Aコースは静岡県内からのご参加を考慮し「掛川駅」からの参加も可能とする予定です。Cコースは昨年度台風により中止となったため、今年度申込者の中から昨年度参加予定者を優先します。  
※見学会は全て貸切バスを利用します。

専門度

高★★★★ 中★★★ 低★

### A 南海トラフ巨大地震に備えた原子力発電所の地震・津波対策を見る

日帰り 7/27(金) 専門度:★★

名古屋・掛川駅発

①中部電力(株)浜岡原子力発電所

名古屋駅→掛川駅→①  
浜岡原子力発電所→  
掛川駅→名古屋駅



浜岡原子力発電所  
写真提供:中部電力(株)

### B 火力発電の現状を見る

~フル稼働の石炭火力とギネスに認定  
世界最高発電効率の最新LNG火力~

日帰り 8/3(金) 専門度:★

名古屋駅発

①中部電力(株)碧南火力発電所  
②中部電力(株)西名古屋火力発電所

名古屋駅→①中部電力  
(株)碧南火力発電所→②  
中部電力(株)西名古屋火力  
発電所→名古屋駅



①碧南火力発電所



②西名古屋火力発電所  
写真提供:中部電力(株)

### C 原子力エネルギー研究現場を見る

日帰り 8/6(月) 専門度:★★★★

名古屋駅発

①京都大学複合原子力科学研究所

名古屋駅→①京都大学  
複合原子力科学研究所→  
名古屋駅



京大研究用原子炉全景



京大研究用原子炉チェレンコフ光  
写真提供:京都大学複合原子力科学研究所

### D 安定供給を支える流通設備を見る

~名古屋城に巨大変電所?  
・流通設備を支える研究所~

日帰り 8/21(火) 専門度:★★

名古屋駅発

①中部電力(株)名城変電所  
②日本ガイシ(株)電力技術研究所、小牧工場

名古屋駅→①中部電力  
(株)名城変電所→②日本  
ガイシ(株)電力技術研究所  
→名古屋駅



①名城変電所(模型)  
写真提供:中部電力(株)



②電力技術研究所  
写真提供:日本ガイシ(株)

## 遠隔地見学会

※集合・解散場所は①コース「姫路駅周辺」、②コース「東京駅周辺」を予定しています。  
※交通費を一律5,000円補助します。  
※昼食を済ませて集合場所へお集まり下さい。見学会は貸切バスを利用します。

### ① 最先端科学研究の現場を見る1 ~放射光~

日帰り 8/10(金) 専門度:★★★★

姫路駅発

①理化学研究所放射光科学研究センター

姫路駅→理化学研究所  
放射光科学研究センター  
→姫路駅



SPring-8全景  
写真提供:理化学研究所放射光科学研究センター

### ② 最先端科学研究の現場を見る2 ~放射線利用~

日帰り 8/17(金) 専門度:★★★★

東京駅発

①農研機構次世代作物開発研究センター  
・放射線育種場

東京駅→農研機構次世代  
作物開発研究センター・  
放射線育種場→東京駅



ガンマーフィールド

写真提供:農研機構次世代作物開発研究センター



照射塔

見学会に参加された方のご意見を基に新設しました。

- ・中部地方ばかりでなく、遠くの施設も見学したい。
- ・バス移動による渋滞により見学時間が短くなった。
- ・当日中に名古屋から自宅に戻るため、時間の制約がある。
- ・魅力的な施設を見学することができるなら、自己負担の部分がが増えても構わない。